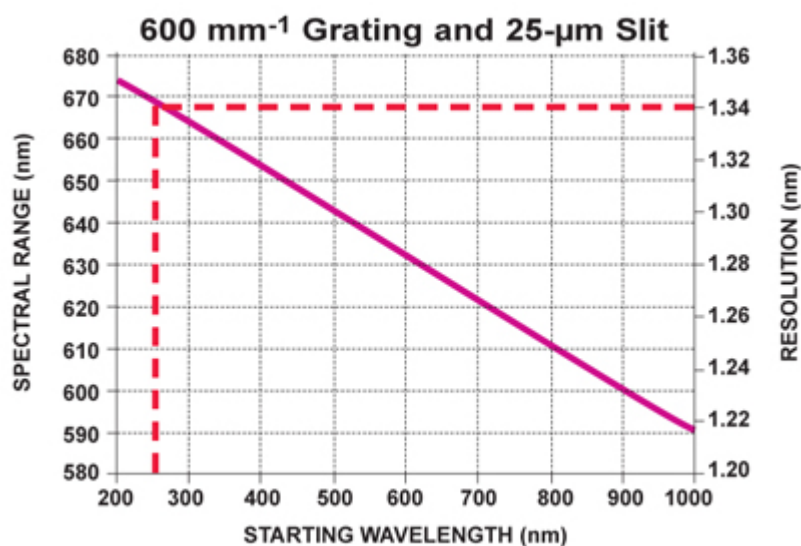
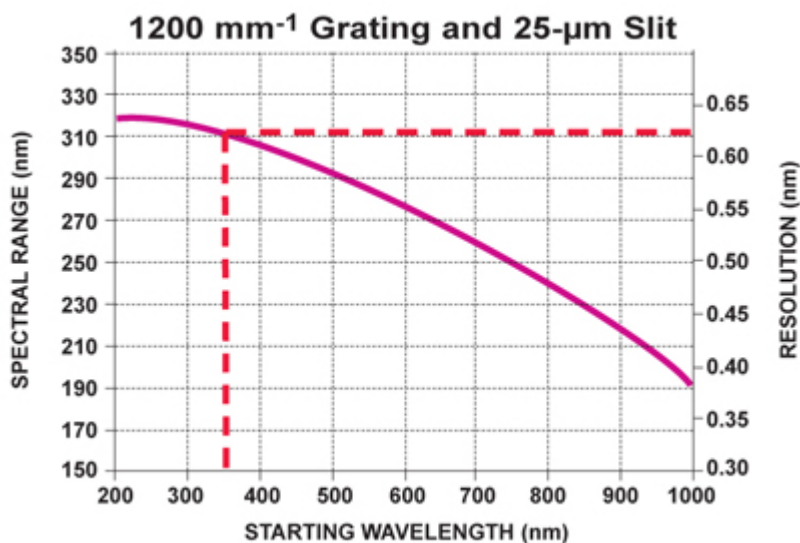


測定可能波長範囲および波長分解能 (Flame / OCEAN FX / USB4000)

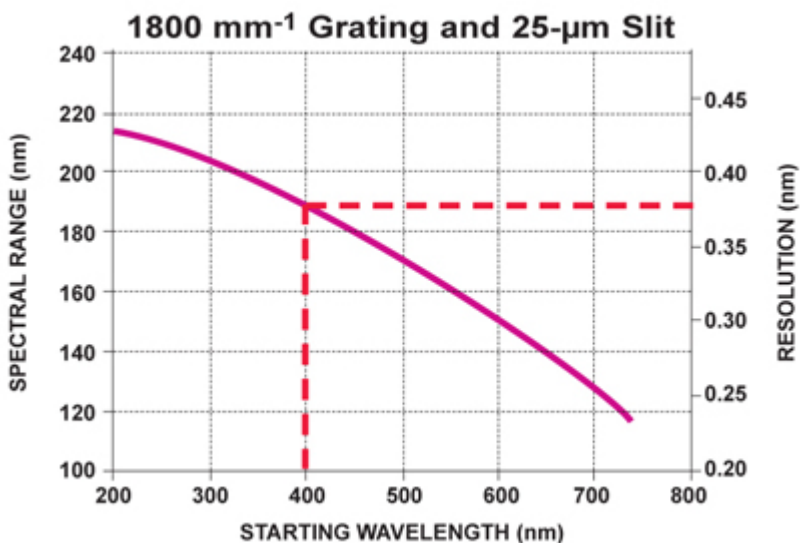
以下のグラフは、25 μm 入射スリットと各種グレーティングの組み合わせによる Flame、OCEAN FX、USB4000 分光器の測定可能波長範囲と波長分解能を示しています。



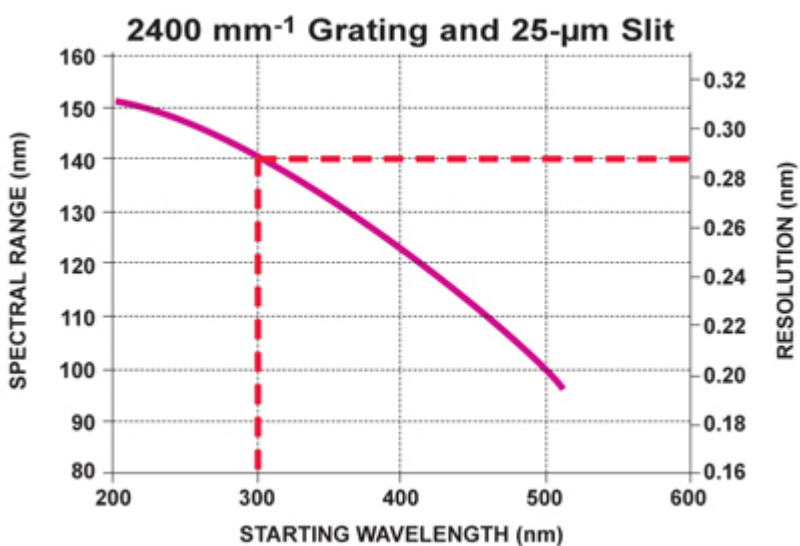
例：設定開始波長が 250 nm のとき、波長範囲は～667 nm (250～917 nm) となり、波長分解能は 1.34 nm となります。
刻線数 600 Lines/mm のグレーティング；#1、#2、#3、#4、#14 が対象となります。



例：設定開始波長が 350 nm のとき、波長範囲は～310 nm (350～660 nm) となり、波長分解能は 0.63 nm となります。
刻線数 1200 Lines/mm のグレーティング；#5、#6、#9 が対象となります。



例：設定開始波長が 400 nm のとき、波長範囲は～190 nm（400～590 nm）となり、波長分解能は 0.38 nm となります。
 刻線数 1800 Lines/mm のグレーティング；#10、#11 が対象となります。



例：設定開始波長が 300 nm のとき、波長範囲は～140 nm（300～440 nm）となり、波長分解能は 0.29 nm となります。
 刻線数 2400 Lines/mm のグレーティング；#7、#12 が対象となります。